

# 一般

## 令和8年度 入学試験問題

### 国語

#### 解答上の注意

- 1 解答用紙には、解答欄以外に受験番号欄があります。受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
- 2 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

1
---

と表示のある問いに対して ① と解答する場合は、次の(例)のように解答番号1の解答欄に ① をマークしなさい。

解答番号	解 答 欄
1	● ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 3 解答用紙は鉛筆でマークした部分を機械で直接読み取るので、解答用紙の注意事項を正しく守りなさい。特に、訂正する場合には消しゴムで丁寧に消し、消しきずはきれいに取り除きなさい。

— 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

著作権保護のため本文は掲載していません。

（注）  
（鷺田清一「想像のレッスン」）

- 萎縮…ものがしぼんで縮むこと。  
○ 狡知…ずるい考え、悪賢い知恵。  
○ アヴァンギャルド…芸術の世界で先端的な活動をする人、前衛派。  
○ マクルーハン…カナダ出身の英文学者、文明批評家。  
○ 瓦解…一部分が壊れて、それによって全体が壊れること。  
○ シュルレアリスト…超芸術主義という芸術運動に関わった人々。  
○ カタストロフィック…壊滅的、破滅的、悲惨。

問一 空欄

A

には、次の五つの文が入る。適切に並び替えたものを選び、番号をマークしなさい。解答番号 1

I 想像力という点、よく論理的な思考と対比される。

II 眼の前にあるものを足がかりとして、眼の前に現われていない

出来事や過程をのびやかに想像すること、あるいはそれを論理的

に問いつめてゆくこと。

III それがいまひどく萎縮している。

IV 空想や夢想はそうなのだろうが、想像力はちがう。

V これは、科学や宗教や芸術、あるいは政治や倫理や（他人への）

思いやり、それらのいずれにおいても根のところまで働いているは

ずの、わたしたちの力だ。

① I ↓ II ↓ V ↓ IV ↓ III

② I ↓ IV ↓ II ↓ V ↓ III

③ I ↓ III ↓ IV ↓ II ↓ V

④ I ↓ IV ↓ II ↓ III ↓ V

⑤ I ↓ V ↓ II ↓ III ↓ IV

問二 傍線部B「人間のもつとも基本的な能力であるといえる」とある

が、その理由としてふさわしくないものを次から一つ選び、番号を

マークしなさい。解答番号 2

① まだないもの、もうないものを現在にたぐり寄せるから。

② 集団の生活を組織し、計画するから。

③ 眼には見えないある法則や構造を読みとろうとするから。

④ ファンタジーを作ることができるから。

⑤ 困難を抱えたとき、社会の別のあり方を構想するから。

問三 傍線部C「ちよっと心寒くなる」とは、どういうことを意味するか。最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **3**

- ① たくましい想像力を蓄えていて、改善される。
- ② たくましい想像力を蓄えているのに、その力を発揮しない。
- ③ たくましい想像力がなく、状況に流されることを恐れている。
- ④ たくましい想像力がなく、これからの育成に期待している。
- ⑤ 想像力はたいしたことがないので、あきらめている。

問四 傍線部D「むかしのお母さんはただ食事時にきちんと家に帰ってくることをきつく命じた」理由として、作者が最も大切に考えているものはどれか。次から選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **4**

- ① 約束を守るというルールを教えるため。
- ② 効率よく食事をとるようになるため。
- ③ 同じ味覚で食事を味わうため。
- ④ 他人への想像力を磨くため。
- ⑤ 母親のプライドを守るため。

問五 傍線部E「小さな学校」に該当しないものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号 **5**

- ① 手近な物で遊ぶ
- ② 芸術的感受性のトレーニング
- ③ 家族と一緒の食事
- ④ 生き物を飼う
- ⑤ 退屈にまかせて遊びを考える

問六 傍線部F「それが輝きを喪って死語のようになって久しい」のはなぜか。最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **6**

- ① 外界との関係を媒介するものが代行するようになったから。
- ② 精神にとって負担の大きいことは誰もやろうとしないから。
- ③ ここにない不在のものが無くなったから。
- ④ 外界の世界への関心が無くなったから。
- ⑤ アヴァンギャルドの意味が分からなくなったから。

問七 空欄 **G** に入る言葉として最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。解答番号 **7**

- ① なぜなら
- ② しかし
- ③ たとえば
- ④ つまり
- ⑤ そして

問八 傍線部H「この三つには共通するものがある」の「共通するもの」とは何か。最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **8**

- ① リアルに感じる歴史的な時間。
- ② 日常生活のなかのごく普通の世界観や感受性。
- ③ 不幸の影が射し人を追いやる場所。
- ④ 別の世界に通じる開口部や裂け目。
- ⑤ じぶんが立ってじぶんの生を眺めている場所。

問九 傍線部Ⅰ「わたしたちの日常の共通感覚（コモンセンス）をひきつらせるという意味」とはどういう意味か。最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。解答番号 **9**

- ① 日常の共通感覚を確かめ納得するという意味。
- ② 日常の共通感覚を超越した感覚に浸るという意味。
- ③ 日常の共通感覚を揺るがし驚かせるという意味。
- ④ 日常の共通感覚を捨て去り安心するという意味。
- ⑤ 日常の共通感覚をいつまでも引きずるという意味。

問十 空欄 **X** に入る見出しとして、最も適当なものを次から選び、

番号をマークしなさい。解答番号 **10**

- ① 情報社会
- ② 戦後という時代
- ③ 携帯電話のボタン
- ④ 精神の負担
- ⑤ 都市のすきま

問十一 本文を読んだ生徒たちの会話のうち、本文の内容にはふさわしくないものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号 **11**

- ① 生徒A―確かに、毎日学校や塾から帰っても、YouTubeを見てばかりで、スマホから目が離せないよね。何でも情報を得られるからね。想像力が萎<sup>な</sup>えるわけだ。
- ② 生徒B―今の世の中ではファンタジーなんか考えられないよ。夢のある世界はデイズニールゾートぐらいだね。想像なんて生きるために必要ではないことだ。
- ③ 生徒C―そういえば、家族と一緒に食事をしたのはいつのことかなあ。食事の時に、他人の感じ方なんか気にしてないよ。でも、そんなところで想像力が育まれるのだろうなあ。
- ④ 生徒D―最近、神社や寺にも行ったことないなあ。大木もないし時間の悠久さなんて感じられないよね。きつとそこには日常生活とは違った感覚を味わうことができるんだろうなあ。
- ⑤ 生徒E―結局、現代の情報社会において、別の世界への想像を駆る機会がなくなっただけのことなんだろうね。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

著作権保護のため本文は掲載していません。

---

著作権保護のため本文は掲載していません。

(内海隆一郎「生きてきた証に」)

問一 傍線部A「そそくさ」の意味として最も適当なものを次から選び、

番号をマークしなさい。解答番号 **12**

- ① あわてて落ち着かないようす。
- ② まっすぐ前を見るようす。
- ③ すばやく、活気があるようす。
- ④ 冷淡に物事を行うようす。
- ⑤ 動きがゆっくりであるようす。

問二 傍線部B「いつまでも推理する表情になっている加藤くん」の説

明として最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **13**

- ① 捨てた本が書棚に戻る謎を解き明かそうとワクワクしている。
- ② 頭のおかしな犯人から自分の身を守る方法を考えている。
- ③ いたずらへの対策を店主に真剣に考えてもらおうとしている。
- ④ 書棚に本を入れる犯人をつきとめて止めさせたいと思っている。
- ⑤ 書棚に何度も本が入られている不気味さに不安を感じている。

問三 傍線部C「あらためて見ると」とあるが、この時の酒井さんの心

情として最も適当なものを次から選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **14**

- ① 今まで無視してきた本をはじめてじっくりと見て、戦争体験を書き記した自叙伝だと分かり、内容をきちんと読んでみたいと思っただ。
- ② 本をきちんと見て中身が自叙伝だと分かり、商品にならない個人の記録を店の書棚に勝手に入れる行為への怒りが湧き上がった。
- ③ 今まで捨ててきた本をはじめて読んで、戦争体験を書き記した深刻な内容のものだと分かり、対処に困ってだんだん腹が立ってきた。
- ④ 書棚に差し込まれていた本が戦争体験を書き記したものと分かり、戦争に関する本を遊び半分で扱う悪ふざけに激しい怒りを覚えた。
- ⑤ 本を読んでみて自分の体験を広めたい気持ちに共感したが、狭い店内には置くスペースがないので、やむなく屑籠へと放り込んだ。

問四 傍線部D「古希」の意味として最も適当なものを次から選び、番

号をマークしなさい。解答番号 **15**

- ① 三十歳
- ② 四十歳
- ③ 五十歳
- ④ 六十歳
- ⑤ 七十歳

問五 傍線部E「ぜひとも老紳士に会って、このことを問いただしてみ

たくなった」について、この時の酒井さんの心情として最も適当な

ものを次から選び、番号をマークしなさい。解答番号 **16**

① 老紳士の苦勞に同情しつつも、はつきり断つたのに本を書棚に勝手に入れていることは許せず、直接言って止めさせたいと思っている。

② 書棚に入れられていた本は老紳士が苦勞して書き上げた本らしいので、事情を聞いたうえで許してもよいのではないかと考えている。

③ 誠実そうな老紳士が身勝手に店の書棚に本を入れるということ  
を不思議に思い、直接会って事情を確かめたいと思っている。

④ 老紳士の苦心の作を捨てたことに罪悪感を感じたが、無断で書棚に入れた老紳士が悪いのだと思い直し、文句を言いたいと思っている。

⑤ 奥さんがはつきり断つたのに、鍼灸院でも本を売り込み、無断で店に本を置く老紳士の執念深さにあきれ、たしなめたいと思っている。

問六 傍線部F「加藤くんを、あえて制止しなかった」について、この

時の酒井さんの心情として最も適当なものを次から選び、番号を

マークしなさい。解答番号 **17**

① 加藤くんは自分の指示で本を店に置くことを拒否してきたので、今更になって本を読んで感動したとは言えず、制止できないでいる。

② 本を読んで老紳士に好感を持ち、加藤くんが文句を言うことを申し訳なく思ったが、それは仕方がないことだと納得しようとしている。

③ 本を読んで店に置きたいと思ったが、それはできないので、加藤くんに断らせることで、店に置くことを自分も諦めようとしている。

④ 本を読んで老紳士に同情し、本を店に置きたいと思ったので、何とかして奥さんや加藤くんを説得しようと考えを巡らせている。

⑤ 本を読んで重い内容に驚いたが、客に勧める価値はないので、店に置くことを加藤くんにあらためて断らせようとしている。

問七 **G** に入る語として最も適当なものを次から選び、番号を

マークしなさい。解答番号 **18**

- ① 暖かくなる      ② 寒くなる      ③ 伸びる  
④ ゆるむ          ⑤ 大きくなる

問八 傍線部H「酒井さんは、自分でも予想外の言葉を口にした」につ

いて、この時の酒井さんの心情として最も適当なものを次から選  
び、番号をマークしなさい。解答番号 19

① 書棚に本を入れたのは老紳士の幽霊ではなく、中学生の男の子  
だったと分かり、緊張していた心がゆるんで優しい気持ちになっ  
た。

② はじめは怒っていたが、男の子が素直に謝罪したことで怒りの  
矛先を失い、この場を丸く収めることしかできなくなってしまっ  
た。

③ 老紳士が本を人々に届ける場所として書店に期待していたこと  
に初めて思い当たり、期待に応えることが書店の存在意義だと感  
じた。

④ 犯人を突き止めようとしたせいで、老紳士の家族に頭を下げさ  
せてしまったことを申し訳なく思い、その罪滅ぼしをしたいと考  
えた。

⑤ 商品でない本を店には置けないと考えていたが、本の内容の良  
さや老紳士の思い、祖父を思う孫の愛情に心打たれ、力になりた  
いと思った。

問九 傍線部I「緊張しきった顔つきで見返していた男の子が、たちま

ち目をかがやかせて、やったあ、と小さくつぶやいた」とあるが、  
この時の男の子の心情として最も適当なものを次から選び、番号を  
マークしなさい。解答番号 20

① 悪いことをしていないのに叱られていることを悲しく思ってい  
たが、本屋のおじさんが自分の思いを分かってくれて、やっぱり  
自分は正しかったんだとうれしく思っている。

② 書棚に本を入れたことを責められると思って緊張していたが、  
祖父の本を本屋さんで扱ってもらえることになり、書棚に本を入  
れ続けて良かったと喜びを爆発させている。

③ 祖父の本を店に置いてもらうために、祖父の思いを本屋さんに  
きちんと伝えなければと緊張して話していたが、思いが通じたこ  
とが分かり、ほっとしている。

④ 本屋さんに迷惑をかけたことへの叱責を覚悟して身を固くして  
いたが、思いがけず祖父の願いを叶えることができることにな  
り、謝罪の念とともに、感謝や喜びの情が沸き起こっている。

⑤ 家で母親から叱られ、ここでさらに本屋さんからも叱られるこ  
とを辛く思っていたが、思いがけず罰を受けなくてもよさそうに  
なって、助かったという思いでいる。

三 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

淀橋を渡り行き、宝倦寺と云ふ寺あり。それより三町程の山の中に小

さき塔あり。中野の塔と云ふ。この脇に道心者一人、庵を結びて住めり。

辺りはみな茅野にて、小さき木所々にあり。さびしさいはんかたもなし。

この道心が庵へ立ち寄り、「さてさて物さびしき住居にて候。狐狸なら  
この道心者の庵に立ち寄り、なんとまあ 狐や狸なら

ではとひ来るものあるべからず」といへば、道心が云ふ。「仰せのごと  
なければ訪ね来る者はないでしょう おっしゃるよう

く人氣はまれにて、狐のみ参り候。馴れ候へば、人よりは結句むつまじ  
馴れますと、むしろ親しみ深く

くいたいけなる物にて御座候。初めは日暮れ候へば、軒のあたりへこ  
でいざいます。日が暮れますと、

そこそいたし、庵の上などかけ歩き候へつるが、次第次第たがひに馴染  
駆け回っていました、

み候へば、後は少しも恐れず、寒き夜は来りて火にあたり、足を延ばし

てとくと寝入り候へて、明くれば帰候。わたくし鉢に出で遅く帰候  
しつかりと 私が托鉢に出で

時は、火を焚き付け、湯をかけ置き候へて待ち請け候。後々は人のやう

に物語もいたし候。過ぎし暮れ大雪降り鉢にも出でられ候はぬ故、  
雑談もいたします。 この間の

一日伏せり候。夜狐来たり、『坊様は今日はさびしく御座候ひつらん。  
一日中寝ていました。 いらつしやいましょう。

寒く候へば何にても御振舞ひ候へ」と云ふ。『その事に候。雪ゆゑ里へ  
寒いので何でもいいからご馳走してください』

出る事もならず、これゆゑ食事もなし。いかがせん』といへば、『さて  
どうしたらよろう。 なんと

さていとほしきことかな。しからば少し御待ち候へ』とて、やがて表  
まあ すぐに

へ出づるかと思ひたれば、小袋を一ツ持ちてきたる。開けてみれば、

小豆と米なり。『これを粥にてまゐり、我等にも御振舞ひ候へ』などと  
召し上がり、私にも

云ふ。その夜『寒く寝られ候はぬまま、一ツに伏せり候はん』とて、衾  
寒くて寝つけませんので、一緒に寝ましょう 布団

の中に寝て帰る。さて狐が申しけるは、『かやうに親しく馴れ候へば、  
このように』

今までの御恩の報じに、何にても私かなへ候はんやうなる御望みも候は  
ご恩返しに、何でも 私が叶えられそうな お望みがありますし

ば、御申し候へ』と云ふ。『然れどもかやうに世を捨てのがれたる身に、  
たら、おっしゃってください このように

何の望みもなし。寒き日は暖かに日影に向かひ、暑き日は涼しき風なら  
日光 ほかに

で願ふことなし』といへば、『それは天の成せる事にて、この狐などが

心にまかす事になく候。かやうに一ツ屋に御座候へば、第一類火のなき  
心のままになることはありません。このように一軒家でございしますので、  
まず第一に

やうに守り申すべく候。夏は清水を冷たく、冬はぬるく致して、朝夕の

垢離の水、御かかりよくいたし候はん』と申しつるが、そのごとく類火

体にかけてやすくいたしませう

にも会ひ申さず、夏の清水冷たく、冬の清水ぬるく御座候て満足いたす』

と語る。

(戸田茂睡『紫の一本』)

(注)

- 淀橋：江戸にある橋。
- 三町：一町は約一〇九メートル。
- 道心者：仏道修行者。
- 庵：粗末で小さな家。
- 茅野：ススキなどの生える野原。
- 鉢：托鉢。僧が修行のために、鉢を持って人の家を回り、米やお金をもらうこと。
- 類火：他から燃え移った火事。もらい火。
- 垢離：神仏に祈願するとき、冷水を浴び、心身を清めること。水ごり。

問一 道心者はどのようなところに住んでいるか。最も適当なものを次

から選び、番号をマークしなさい。解答番号

21

- ① 寺や塔などが近い町の中心部。
- ② 狐や狸などが通う森の中。
- ③ みすぼらしく不気味な家。
- ④ 人が来ることのない険しい山の上。
- ⑤ 野原の中の人里離れたところ。

問二 傍線部 X 「いたいけなる」・ Y 「いとほしき」の意味として最も  
適当なものをそれぞれ選び、番号をマークしなさい。

解答番号 X 22 ・ Y 23

- ① 愚かな
- ② 気の毒な
- ③ 頼もしい
- ④ かわいらしい
- ⑤ 喜ばしい

問三 道心者と狐との関係はどのように変化していったのか。最も適当

なものを次から選び、番号をマークしなさい。解答番号 24

- ① はじめのころ、狐はなかなか姿を現さなかったが、やがて家の  
中に入って暖をとるようになり、ついにはよく会話をするようにな  
った。
- ② はじめのころ、狐は道心者になつかなかつたが、やがて道心者  
の側で眠るようになり、ついには常に家の中にいるようになった。
- ③ はじめのころ、狐は家の中で走り回っていたが、やがて落ち着  
いて過ごすようになり、ついには一日中寝ているようになった。
- ④ はじめのころ、狐はこそそこそと家に忍び込んでいたが、次第に  
道心者を恐れなくなり、ついには留守宅に堂々と入り込むようにな  
った。
- ⑤ はじめのころ、狐は夕方にしか姿を現さなかったが、やがて一  
晩中家にいるようになり、ついには人々の話題の的になった。

問四 傍線部A「大雪降り」とあるが、大雪の日の出来事として正しく、

ないものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号 **25**

- ① 雪の日の寒い夜、狐が道心者の家に食事をしに来た。
- ② 道心者は雪のために人里に出ることができず、食料がなかった。
- ③ 狐は家の中を探し、どこからか小さな袋を持ってきた。
- ④ 道心者は袋の中の小豆と米でお粥を作り、狐と一緒に食べた。
- ⑤ 寒い夜だったので、狐は道心者と一緒の蒲団に入って眠った。

問五 傍線部B「御恩の報じ」について、狐が道心者への恩返しとして

行っていることは何か。次から全て選び、番号をマークしなさい。

解答番号 **26**に、該当する番号を全てマークすること。

- ① 寒い日に暖かい日が差す。
- ② 暑い日に涼しい風が吹く。
- ③ 夏に清水を冷たくする。
- ④ 冬に清水をぬるくする。
- ⑤ 家を火災から守る。

四 次の各問いに答えなさい。

問一 傍線部に使う漢字と同じ漢字を含むものとして最も適当なものを次から選び、それぞれ番号をマークしなさい。

(一) 歌舞伎の名跡のシユウメイ披露。

解答番号 27

- ① 地元企業にシユウシヨクする。
- ② 武装集団にシユウゲキされる。
- ③ 密輸品をオウシユウする。
- ④ 駅のシユウトク物。
- ⑤ 精神シユウヨウに励む。

(二) 外国のカワセの相場。

解答番号 28

- ① ジンイ的な災害。
- ② カレイな容姿。
- ③ 内政カンシヨウ。
- ④ 門をセジヨウする。
- ⑤ 名刺のコウカン。

(三) 平成から令和にカイゲンされた。

解答番号 29

- ① 奴隷のカイホウ。
- ② ゲンジユウに注意する。
- ③ 利益をカンゲンする。
- ④ カイギの念を抱く。
- ⑤ ゲンカクに悩まされる。

問二 次の四字熟語で、漢字の使い方が正しいものを一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号 30

- ① 危機一発
- ② 絶対絶命
- ③ 大言荘語
- ④ 巧言令色
- ⑤ 厚顔無知

問三 傍線部の言葉の使い方が正しいものを次から一つ選び、番号をマークしなさい。解答番号 31

- ① 枯れ木も山のにぎわいですから、同窓会に、ぜひご出席を。
- ② 幼なじみの彼は、一歩気が置けない人だ。
- ③ その配役は、わたくしには役不足ですが引き受けます。
- ④ 先輩を他山の石とします。
- ⑤ 今度こそ汚名挽回だ。



